

発行:とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構(栃木県社会福祉協議会内)
Tel. 028-622-7555 ホームページ <http://www.tfhs.jp>

評価結果を公表しました

H 29.12.1~H 30.2.21 (公表順)

保育所

那須塩原市さくら保育園

評価機関

NPO法人アスク

児童自立支援施設

栃木県那須学園

評価機関

NPO法人アスク

地域密着型特別養護老人ホーム

オレンジホーム

評価機関

NPO法人ニッポン・アクティブライフ
・クラブ

児童養護施設

アリスとテレス

評価機関

NPO法人アスク

保育所

宇都宮市西部保育園

評価機関

(株)アールピーアイ栃木

保育所

那須塩原市わかば保育園

評価機関

NPO法人アスク

地域密着型特別養護老人ホーム

幸寿苑 たかしまの郷

評価機関

NPO法人アスク

児童養護施設

イースターヴィレッジ

評価機関

(一社)栃木県社会福祉士会

乳児院

宇都宮乳児院

評価機関

NPO法人アスク

児童心理治療施設

那須こどもの家

評価機関

NPO法人アスク

保育所

ひまわり保育園

評価機関

NPO法人ライフサポート楽楽

特別養護老人ホーム

誠心園

評価機関

NPO法人ライフサポート楽楽

特別養護老人ホーム

さつき荘

評価機関

NPO法人
International Social Service
Culture Center

母子生活支援施設

わかくさ

評価機関

(一社)栃木県社会福祉士会

児童養護施設

きずな

評価機関

NPO法人
International Social Service
Culture Center

平成29年度福祉サービス第三者評価推進シンポジウムが開催されました

東洋大学社会学部社会福祉学科 高山 直樹氏の講義『福祉サービス第三者評価を活かすために』に続いて、パネルディスカッション『福祉サービスの質の向上に向けて～第三者評価の効果的な活用方法～』を行いました。パネリストには、評価機関と第三者評価を受審した施設、それぞれの立場から受審への取り組み、評価結果の活用方法などをお話いただきました。

①講演 「福祉サービス第三者評価を活かすために」



講師：東洋大学社会学部社会福祉学科
教授 高山 直樹 氏

②パネルディスカッション 「福祉サービスの質の向上に向けて～第三者評価の効果的な活用方法～」



パネリスト ◆特定非営利活動法人アスク 理事長 佐藤 由紀子 氏
◆社会福祉法人慈生会
障害者支援施設 マ・メゾン光星 施設長 西部 雅昭 氏

コーディネーター 東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 高山 直樹 氏

佐藤氏

- (1) 自己評価の取り組み
 - ・評価の要は事業所による自己評価であり、自己評価の取り組みが第三者評価の成否の7割を占めるといっても過言ではない。
- (2) 評価の受審は計画的に
 - ・評価は全体で5～6ヶ月の期間を要するため、計画的に取り組むことが重要。できれば前年度、または年度初めには評価機関と打合せを行ってほしい。
- (3) 評価受審の心構え
 - ・事業所のその時のあるがままの姿を評価調査者に見てもらう。
 - ・ヒアリングの機会に、事業者と評価調査者が十分に話し合うことで、評価調査者を鏡として、そこに映し出される事業所の今の姿を確認できる。
 - ・評価の過程を通して、事業所の良いところを再確認し、事業所の弱い部分や改善が必要な内容を把握する。
 - ・改善へのステップと捉え、PDCAサイクルを回すことのできる体制を構築する。

西部氏

- ◆第三者評価を受審した理由
職員層の変化と利用者の高齢、病弱化などに対する支援の振り返り。
- ◆評価結果の活用方法
現場主義に陥らず改善できることを積極的に行う。
- ◆受審してあらわれた効果
強みや弱みの把握。今後の施設運営に生かす。
- ◆第三者評価を受審した感想
大いに刺激になった。
- ◆これから受けようとする施設事業所にひとこと
外部評価の負担感はあるが、人権を扱う大切な仕事ゆえに独りよがりにならず、受審することを皆さまにもお勧めいたします。

普及啓発シンポジウムアンケート集計結果

【出席者52名 回答者42名】

1. 御所属についてお教え下さい。

高齢	8 人	障害	14 人
保育	16 人	社会的養護	0 人
行政	0 人	評価機関	4 人
その他	0 人		

2. 講義の内容はどうでしたか？

よく理解できた	26 人
少し理解できた	15 人
あまり理解できなかった	1 人

3. パネルディスカッションは興味あるものでしたか？

(無回答 3人)

非常に興味深い	15 人
やや興味深い	22 人
あまり興味ない	2 人

4. 今回のシンポジウムの満足度について。

(無回答 1人)

満足できた	22 人
まあまあ満足できた	19 人
満足できなかった	0 人

5. 受審するにあたって最も苦慮すると思われる点は？

(複数回答可・無回答 4人)

職員への説明・理解	23 人
受審費用の工面	6 人
準備に手間暇がかかること	26 人
効果やメリットが見えないこと	3 人

6. 福祉サービス第三者評価を受審しようと思いますか？

(無回答 8人)

次年度に受審予定	6 人
2～3年以内に受審したい	15 人
いずれ受審したい	11 人
受審する考えはない	2 人

〇ご意見・ご要望の欄からいくつかご紹介いたします。

- ・高山教授による、第三者評価の考え方と取り組み、進め方について勉強になった。
- ・初めての参加でしたが、とても分かりやすく説明されていて良かった。
- ・評価する側、される側の具体的な話が聴けて良かったです。
- ・評価受審にあたり、流れの説明を聴くことができ、評価機関の説明は参考になりました。
- ・良く準備して受審しなければならないと思いました。
- ・受審された施設側の感想を聴きたかったので、西部氏の話が良かった。特に、改善の意欲を持つリーダー層がいることが大切と感じました。
- ・評価を受ける事業所への詳細な説明会も必要に思う。
- ・第三者の視点は必要と思われるので、いずれは受審してみたいです。
- ・現在はISOだが、次年度は第三者評価にする。
- ・是非やってみたいと思うが、日々業務を考えると・・・。
- ・第三者評価は、福祉施設の立場から当然。
- ・受審するメリットを積極的に発信し、たくさんの事業所に呼びかけた方が良い。
- ・評価機関の数が限られていて選択が難しい。
- ・各地区で勉強会をお願いしたい。
- ・第三者評価事業の普及に向けて、各事業所（種別）の協議会等の集まりの際に、こうした説明会を企画していく（持ち込んでいく）事も大切かと思います。

★この他にも、多数貴重なご意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

ご参加いただきましてありがとうございました。

平成29年度の第三者評価実施件数は、39 件です。

高 齢	障 害	保 育	社会的養護	合 計
4	5	15	15	39

福祉サービス第三者評価受審料補助制度について

この制度は、福祉サービス事業者における第三者評価の受審費用に係る負担を軽減し、受審率向上に資するため、受審費用を補助してきましたが、平成29年度で終了となりました。
 なお、平成27～29年度の交付状況は下記のとおりです。

年度	高 齢	障 害	計
27	○特別養護老人ホーム グリーンホーム	○とちのみ学園（施設入所支援） ○真岡ハートヒルズ（施設入所支援） ○桜ふれあいの郷生活支援施設（施設入所支援） ○桜ふれあいの郷就労支援施設（施設入所支援） ○障害児入所施設桜ふれあいの郷（障害児入所施設） ○清風園生活支援施設（施設入所支援） ○清風園就労支援施設（施設入所支援）	8
28	○特別養護老人ホーム オレンジホーム ○特別養護老人ホーム やすらぎの里シエスタ	○マ・メゾン光星（施設入所支援） ○ひのきの杜（施設入所支援） ○光輝舎（施設入所支援） ○ライキ園（施設入所支援） ○那須共育学園（施設入所支援） ○ホーム宙（施設入所支援）	8
29	○地域密着型特別養護老人ホーム オレンジホーム ○地域密着型特別養護老人ホーム 幸寿苑 たかしまの郷 ○特別養護老人ホーム 誠心園 ○特別養護老人ホーム さつき荘	○かしわ荘（施設入所支援） ○すぎなみき学園（施設入所支援）	6
計	7	15	22

お詫びと訂正

推進機構ニュース49号(平成29年11月発行)において、評価機関一覧表内「合同会社福祉経営情報サービス」の電話番号記載漏れがございました。ここに訂正するとともにお詫び申し上げます。

〒104-0061

◎合同会社福祉経営情報サービス

東京都中央区銀座6-6-1

電話番号:03-5537-7750

銀座風月堂ビル5階

推進機構ニュース第50号 平成30年3月発行

発行：とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6（社会福祉法人栃木県社会福祉協議会内）

TEL 028-622-7555 FAX 028-622-2316

★E-mail : info@tfhs.jp ★ホームページ : <http://www.tfhs.jp>

■第三者評価事業に関するご意見・ご要望がありましたら、お寄せ下さい■